

研究班番号【 22 】  
トップ都市大阪を目指して～大阪を手がかりに～

社会班: 松本 遥真、山下 悠太、奥野 慶希

### Abstract

We began this research after learning that Osaka City was called "Daiosaka" in the past, and wondered if it could become such a city in the present day. We picked cities in Japan and other countries with similar conditions to Osaka City, investigated whether there had been successful cases of attraction of enterprises to Osaka in the past, and considered whether it would be feasible to do the same in Osaka City. As a result, we investigated cities with similar conditions to Osaka City overseas, mainly in South Korea and Australia, but were unable to find any notable successes in attraction of enterprises to Osaka City. On the other hand, in Japan, Fukuoka City in Fukuoka Prefecture, which has a similar climate and topography to Osaka City, attracted 65 companies in 2022. This suggests that it would be possible to attract companies to Osaka City as well. However, it is also important to take into consideration that an increase in population may lead to a shortage of land for housing, hospitals, and schools, as well as overcrowding in these areas.

### 要約

大阪市が過去に”大阪”と呼ばれていたということを知り、現代でもそのような都市になれるのではないかと考え、本研究を始めた。日本や海外の大阪市と似た条件の都市をピックアップし、その年で過去に企業誘致の成功例があるかを調査し、それが大阪市で実現可能かどうかを考察した。結果として、海外では韓国やオーストラリアを中心に大阪市と似た条件の都市を調査したが、目立った企業誘致の実績を見つけることはできなかった。一方、日本国内では、大阪市と気候や地形の似た福岡県福岡市において、令和4年度に65社の企業誘致が行われていた。このことより、大阪市にも企業を誘致していくことは可能である。しかし、そこには人口増加による住居の用地不足や病院、学校の不足や過密化につながる恐れがあることも考慮しなければならない。

### 1. はじめに

大阪市が1920～30年代、人口や工業出荷額において当時の東京を抜き全国一位であり、その繁栄の様子から”大阪”と呼ばれていたということを知り興味を持った。大阪時代は、当時の主要産業であった紡績業の工場を大阪市内に誘致し、それをきっかけとして飛躍的な繁栄を遂げた。しかし、現在は東京が経済面や人口面で見ると日本のトップ都市であるということは現状として受け止めなければならない。このような現状を変えることはできないだろうかという想いで本研究を始めた。そこで、本研究では、この現代でも過去の”大阪”的成功経験を参考に大阪市が経済面や人口面で東京23区を抜いて日本トップの都市になることができるか、また、どのような方法でそれが達成できるかということについて、「企業誘致に着目して調査した。本研究における”トップ都市”を経済、人口の面で日本一の市区町村と定義する。

### 2. 研究手法

大阪が企業誘致を行うことでトップ都市になることが可能かどうかを知るために気候や人口などの条件が大阪市と似ている日本国内と海外の諸地域における企業誘致の成功事例を調査し、その企業誘致が大阪市でも再現可能かどうかを考察する。

#### 《実験1》

- ①気候や人口などの条件が大阪市と似ている海外の地域を調査する。
- ②その地域における企業誘致成功例を調査する。
- ③その成功例が大阪市で再現可能かを考察する。

#### 《実験2》

- ①気候や人口などの条件が大阪市と似ている日本国内の地域を調査する。
- ②その地域における企業誘致成功例を調査する。
- ③その成功例が大阪市で再現可能かを考察する。

### 3. 結果

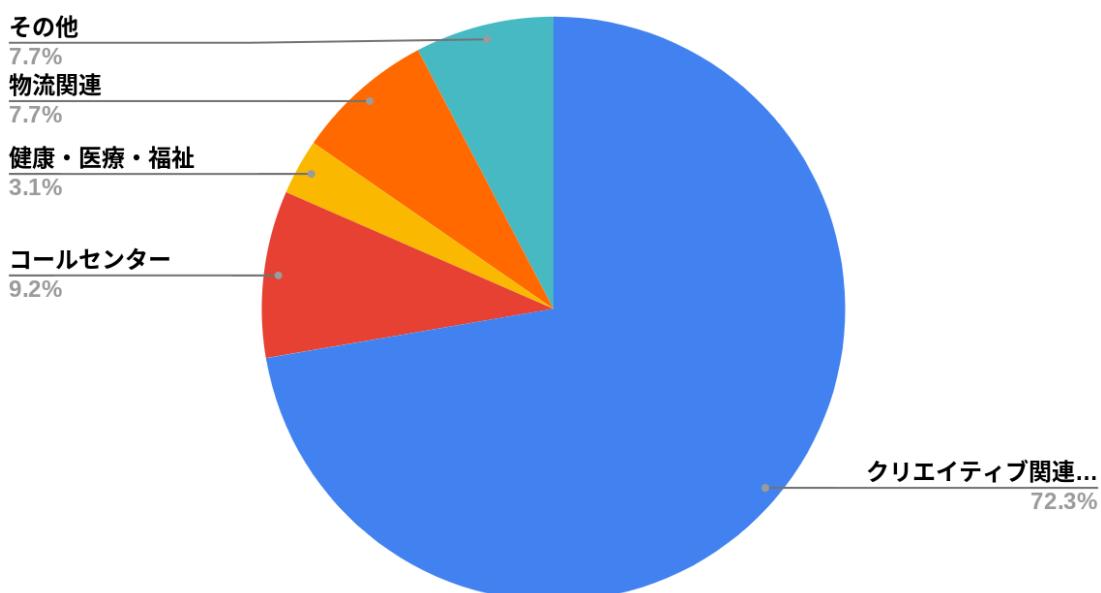
#### 『実験1』

韓国のソウル、オーストラリアのシドニーなど大阪市と気候や人口などの条件が似た都市はいくつかあったが、その各地において、目立った企業誘致の成功例を見つけることができなかった。

#### 『実験2』

大阪市と気候や地域の環境が似ている福岡市を調査した。令和4年度では65社の誘致に成功し、過去10年で最高となった。その中でも、コミックスマート(株)などのクリエイティブ関連会社が70%以上を占めていた。

### 分野別立地企業数



### 4. 考察

『実験1』より企業誘致の条件には気候や人口などの条件以外にも地域の伝統や文化等の他の条件が関係するのではないかと考えられる。また、地域によって求める企業の種類が異なることも企業誘致の成功例を探し出すことができなかった原因として挙げることができる。

『実験2』より、福岡市では令和5年度に過去最高の65社の企業を誘致していることから、福岡市と同様に人口が多く、気候が似ている大阪市でも企業誘致による人口増加や経済成長は見込めると考えられる。また、福岡市の多くの立地企業が「福岡の7つの魅力」福岡県企業立地情報よりアクセスの利便性から企業誘致を決めたと述べているため、企業誘致の条件として立地環境や公共交通機関の充実などインフラの整備がされていることが重要であることがわかる。

### 5. 結論

大阪市が企業誘致によって人口、経済面においてトップ都市になることは可能である。一方で、人口増加による用地の不足や学校や病院などの公共施設の不足、過密化という問題も生じる。また、今回の研究では人口や気候などの限られた条件においての再現性を研究したが、文化や伝統、慣習などの条件は研究していないため、今後はそれらの条件を考慮し、より巨視的に研究する。

## 6. 参考文献ならびに参考Webページ

近代・現代の大阪—大阪市立図書館

[https://www.oml.city.osaka.lg.jp/index.php?page\\_id=1147](https://www.oml.city.osaka.lg.jp/index.php?page_id=1147)

100年前「大大阪」がけん引した日本 栄光を振り返る

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOJE215PP0R21C21A2000000/>

韓国(外国企業誘致) - ビジネス短信

<https://www.jetro.go.jp/biznewstop/biznews/asia/kr/invest/>

オーストラリア(外国企業誘致) - ビジネス短信

<https://www.jetro.go.jp/biznewstop/biznews/oceania/au/invest/>

令和4年度 本社機能・成長分野の企業立地実績

[https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/57928/1/reiwa4nend\\_rittizisseki.pdf?20231117184034](https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/57928/1/reiwa4nend_rittizisseki.pdf?20231117184034)

福岡の7つの魅力 | 福岡県企業立地情報

<https://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp/appeals>

企業誘致の実績について—三重県

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000075636.pdf>